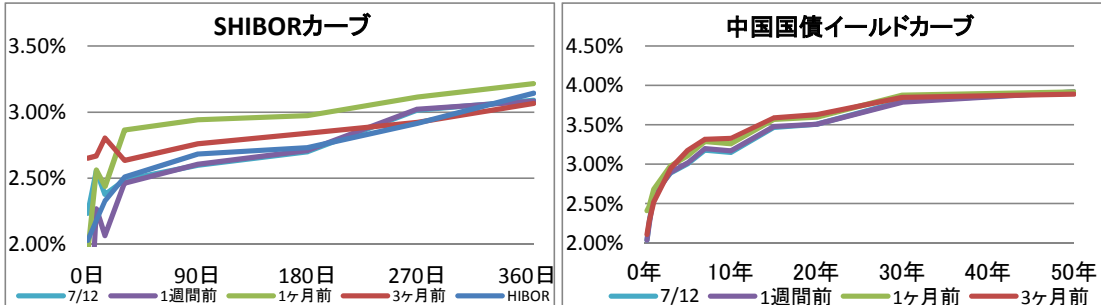


①市場概況

基準レート		2019/7/12	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8662	-0.0035
	JPY/CNY	6.3300	-0.0417
SHIBOR	3M	2.6000%	-0.0060%
国債利回り	10年	3.15%	-0.02%
上海総合指数		2,930.55	-80.51



(1) 概況

中国の経済指標と米FRB議長の証言待ちで動き難い中、株式市場では科创板への複数の振興企業新規上場を控えて軟調な推移となった。

米中通商協議が再開され、米高官からは建設的だったとのコメントが出されたものの、協議の進展に関する具体的な内容が示されなかったことから、協議が難航しているとの認識は変わらず、FRB議長が議会証言において、通商問題と世界的な景気減速が不確実性を高めていると発言してこともあって、先行き不透明感が払拭されることはなかった。

中国のCPI等の経済指標も内外需の弱さを確認する内容となった。

(2) 金融調節

新規リバースオペの実施を15営業日連続で見送り、リバースオペ期日の到来した2,200億元全額を吸収している。これは市場内の余剰資金吸収を目的とするもので政策的な意図はなく、7月15日に期日の到来するMLF1,885億元への対応が注目される。

(3) 主な経済指標

CPI (6月) は、前年比+2.7% (前月+2.7%) と前月と同水準となったものの、前月比では△0.1% (同+0.0%) と3ヶ月ぶりに低下に転じている。食品価格を中心とする生活関連価格の下落によるところが大きいが、サービス価格は上昇を続けている。

PPI (6月) は、前年比+0.0% (前月+0.6%) と大幅に低下し、前月比では△0.3% (同+0.2%) と4ヶ月ぶりに低下に転じている。原油を中心とする商品市況の影響による原材料価格の低下が主因。

自動車販売 (6月) は、前年比△9.57% (前月△16.4%) の減少で、12ヶ月連続での減少となった。従来からの販売不振に加えて環境基準の引上げも影響している模様。

貿易統計 (6月) は、輸出入ともに予想を上回る減少となり、貿易黒字も拡大している。輸出は前年比△1.3%、輸入は△7.3%減少しており、米国の関税引上げと中国内需の弱さを反映した結果となっている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.2350%	2.2500%	2.2700%	
1W	2.5590%	2.4500%	2.5000%	2.0000%
2W	2.3780%	2.4000%	2.4000%	2.1000%
1M	2.4870%	2.6000%	2.5100%	2.3800%
3M	2.6000%	2.6600%	2.5500%	2.6500%
6M	2.7000%	3.7200%		2.8000%
9M	3.0150%	3.3500%		3.0200%
12M	3.0910%	3.9000%	3.9500%	3.1000%

中国人民銀行が余剰資金の吸収を進める中で足下資金の金利水準が徐々に上昇しているものの、3ヶ月までは出しも見えている中で積極的な取りは少なく、出合いも限定的。

NCD市場は、発行市場では週初は期日が祝日となることから低調なスタートとなったが週後半には回復し、流通市場でも引き続き活発な取引が見られたが、金利水準を引き下げるまでには至っていない。

15日からの週は納税に伴い資金需給が引き締まると予想されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	SHIBOR	無担保資金
ON	2.43%	2.45%
1W	2.52%	2.55%
1M	2.65%	2.70%
3M	2.80%	2.90%
6M	3.00%	3.10%
12M	3.10%	3.20%

米ドル金利は、米金融政策に対する期待に変化は見られるものの、金利水準に大きな変化は見られず、引き続き3ヶ月までのターム物で出合いが見られ、1ヶ月は2.65%~2.70%、3ヶ月は2.75%前後で取引されていた。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.04%	2.26%	2.65%	2.68%	3.26%
6M	2.27%	2.49%	2.72%	2.84%	3.41%
1Y	2.62%	2.84%	3.07%	3.13%	3.66%
3Y	2.89%	3.09%	3.50%	3.52%	4.40%
5Y	3.01%	3.31%	3.80%	3.94%	4.84%
10Y	3.15%	3.59%	4.15%	4.33%	5.39%

米中通商協議や米金融政策への不透明感が払拭されず、翌週に中国主要経済指標の発表を控えて様子見姿勢が強く、小動きに終始。中国人民銀行の短期金融市場での余剰資金吸収による足下金利上昇によって短期債券の利回りも小幅ながら上昇したことからイールドスプレッドは若干縮小し、クレジットスプレッドは信用債が中期ゾーンまでやや弱含んだ（利回りは上昇）ことから若干拡大している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-0.3 / 0.2
1M	-3.3 / -2.0
3M	-3.5 / -2.0
6M	14.0 / 20.0
9M	45.0 / 59.0
12M	90.0 / 101.0

対ドル基準値は6.8662と前週末比△35pipsのドル安元高、対円基準値は6.3300と同△417pipsの円安元高と、対ドルで若干の元高となっている。国内スポット市場では前週末の強い米雇用統計を受けてドル高で始まったものの、米利下げ期待の高まりとともにドルが売り戻される展開となった。

スワップ幅は、ドル金利の先行き低下見込みが修正される格好で長めの期間で縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.54%		1.85%
6M	2.56%	2.74%	1.95%
9M	2.57%	2.83%	2.08%
1Y	2.59%	2.88%	2.18%
3Y	2.71%	3.16%	2.33%
5Y	2.88%	3.38%	
7Y	3.03%	3.56%	
10Y	3.18%	3.73%	

債券利回りは小幅に低下していたものの、短期の基準金利が徐々に上昇したことを受けて、金利スワップのレート水準は短期で若干上昇したものの、総じて小動きでほぼ前週末と同水準で推移していた。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。